

## 首長メッセージ

伊達市から避難されている子どもたち、そしてご家族の皆様には、東京電力第1原発の事故による放射能汚染により、ふるさとを遠く離れた不慣れな土地での生活を強いられる結果となり、避難に伴う皆様の困難や苦悩を思うとき、その心情は察するに余るものがあります。

事故発生後、市内の放射能汚染の状況が明らかになり、伊達市では他に先駆けて「市内全域の除染」を掲げて、23年度は小学校、幼稚園、公園等公共施設の除染を行いました。24年度は、240億円の予算を計上して住宅の除染を徹底的に進め、安心・安全な環境づくりに努めました。

また、市民の健康管理としましては、平成23年からガラスバッチによる積算放射線量の測定と、ホールボディカウンターによる内部被曝量の測定を行っています。これは、子どもたちの健やかな成長のため、長期的な取組になるものと考えております。

伊達市では、現在、「へこたれません！！伊達市」を合言葉に、市役所職員ほか数多くの市民が缶バッチを胸につけて、それぞれの職務に、仕事に日々取り組んでいます。

どうか伊達市の取組にご理解をいただき、県外に避難されている皆さまには、近い将来、伊達市にご帰還いただきたくお願い申し上げます。私からのメッセージといたします。

平成25年3月

福島県伊達市長 仁志田 昇司